月報
視聴覚教育
NO.317
発行日
17.11.10
発行
岡崎市AVL
編集
現職研修委員会
学習情報部

情報モラルを考える

現職研修委員会学習情報部長　高木　和広

多様化するネットコミュニケーションに対して、情報社会の「光と影」の問題が言われて久しい。ネットワークを介した事件も多発していることから、とりわけ「情報モラル」についての指導が問題となってきている。しかし、なかなかその部分を取上げて体系的に指導するということは難しい現実がある。

そこには二つの側面が考えられる。一つは、大人（教師）の側に「教えるための知識が十分ないこと」、つまり、子供たちが置かれている状況の把握が十分になされていないことである。親も教師も、どんなネットコミュニケーションがあるのか、どんなシステムでどんな機能を持つのか、子供たちをとりまく状況がわかった上で指導しきれていないということである。

もう一つは、「何を教えていいのか分からないこと」である。どんな場面で何を教えるべきか、家庭でも学校でも十分コンセンサスが得られていない点である。

しかし、現実には手をこまねいている間はない。刻一刻と子供たちに危険が迫っている。早急に、仮想空間における疑似体験（メール実習、掲示板の書き込み体験など）を、意図的に仕組んで情報モラルの学習を進めなければいけない時代に入っている。

ただ、ここで忘れてはいけないのは、メディアの向こうの「人」を常に意識することであり、それは日常のモラル指導と同じ線上にあるということである。社会全般の「モラルの低下」が叫ばれる今、「情報モラル」だけを取上げる必要に迫られる場面はもちろんあるが、日常の「人の嫌がることはしない」という原点に立ち返って、指導を進めることが肝要である。

総合的な学習の時間に「情報の学習」を実施し、その中で情報モラルについての取り組みを進めている小中学校も多いが、今後は、教科の授業の中で「情報モラル」に触れたり、道徳教育を通して情報モラルを指導したりしていくことが必要となっている。

視聴覚用語
『ストリーミング』
ネットワークを使用してデータを受信する場合に、すべてのデータを受信する前に、再生を開始することを可能にする技術。再生ソフトとしては、Real Video、Windows Media、QuickTime などがある。

＝視聴覚教育あれこれ＝
放送教育研究会全国大会参加報告

六ツ美北部小学校　畠田　繁直
矢作中学校　坂田　健一

10月28・29日（金・土）に東京で行われた第56回放送教育研究会全国大会に参加した。

地上デジタル放送をはじめとする新しい技術の開発や社会の要請の中で、「輝く瞳・感じる心・学ぶ喜び」をメインテーマとし、1日目は、東京、大田区・港区・練馬区・渋谷区にある各園・校・会場で、公開保育・授業・授業別研究交流会等が行われた。2日目は、午前中に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて全国各地の実践研究交流会が、現場の教員と研究者、番組制作者を交えて行われた。午後からは、NHKみんなの広場ふれあいホールにて、総合全体会として、講演会ならびにシンポジウムが行われた。

今大会では、特に地上デジタル放送の教育的可能性を探ることが大きなテーマの一つとなっていた。「確かな学力」をつけるために放送教育の果たす役割を追究していくということがどの校種でも取り上げられており、コンピュータの整備とともに、地上デジタルテレビ・サーバー型放送の可能性について考える良い機会となった。

練馬区立八坂中学校の授業より

＝実践報告＝
音と映像で広がる音楽のイメージ

根石小学校　本間　茂夫

本校は、10月13・14日に全日本音楽教育研究会の会場校として、音楽科を中心にした授業と根石ミュージックパーティー（音楽集会）を公開した。6年生では、「世界の音楽」をテーマに発表した。一学期から、万博見学でビデオ撮影してきた世界各地の演奏を簡易編集したものを視聴するなど、世界各地の音楽に触れる中で、子供たちは、世界各地の音楽の違いや良さに気づいていった。

発表当日は、「日本」「アフリカ」「南米」の三つのチームに分かれ、打楽器を中心にしてリズム演奏をする授業を行った。子供たちのイメージを膨らませるために、その国の映像や音楽を視聴して調べ学習を進めると、リズム作りへの意欲も高まった。演奏の仕方を工夫する場面では、インターネットから集めた和太鼓やジャンベなどの資料映像や、自分たちの演奏をいつでも見られるようにした。自分の演奏と比べながら視聴することができ、すぐにグループ練習に生かす姿を見ることができた。

今、子供たちは、音と映像でイメージを広げて創り上げてきた自分たちの音楽を11月の学習発表会で発表するのを楽しみにしている。

ネットワークを使って調べる

＝レッツトライ＝
「インターネットかな棒くん4」の紹介

社会科や総合学習など授業でインターネットを使って調べる機会は多い。しかし、3年生や4年生では漢字が読めなくて、意味が分からず調べきれないことがよくある。ホームページに表示された漢字をよみがなに変換してくれるソフトウェアはいろいろあるが、今回は「インターネットかな棒くん4」を紹介する。

ツールバー上のボタンをクリックするだけでよみがなをふることができ、小学生や日本語を学習中の外国の児童生徒にも、文書を読みやすくするツールである。スペックの低いパソコンでも動作が可能である。

「ふりがな（ルビ）」、「かっこがき」、「ひらがな」の3つの変換モードがあり、変換レベルは、小学校1年生から6年生まで設定することができる。また、「キッズセーフティ」というフィルタリング機能もついているので、家庭で安心して子供たちにインターネットを使わせることができる。

本校には4年生以上の学年のフロアと図書準備室に、PC教室の更新に伴い受け入れた旧型のパソコンを設置して、試験的にインストールしてある。非力なマシンではあるが、十分対応できる。利用状況をみて、今後の本格導入を検討している。

【参照】http://www.kanabo.com/index.shtml

（美合小学校学習情報主任　杉田裕一）

ライブラリーだより

●「親子映画会」開催のご案内

次のように親子映画会を開催します。無料ですので、ご家族でぜひ見に来てください。

・日時　12月11日（日）
　第1回　午前10時～11時30分
　第2回　午後1時30分～3時
・場所　中央市民センター（六名小北隣）
・上映予定映画
　「くまのおいしゃさん」
　「盲導犬クイールの一生」
　「おにたのぼうし」

●第3回ふるさと岡崎メディアコンクール作品募集のお知らせ

まもなく募集が始まります。11月21日（月）～12月9日（金）です。多くの応募をお待ちしています。詳しくは視聴覚ライブラリーに募集要項がありますので問い合わせ下さい。

●映像教材のご紹介

愛知県オリジナル資料映像教材
「私たちの誇り　愛知県シリーズ」
（全3巻　1巻18分）
第1巻　わたしたちの水
第2巻　わたしたちの食
第3巻　わたしたちの技

県内各地の貴重な映像が多く使われているビデオです。社会科や総合的な学習などに、ぜひ、ご利用下さい。